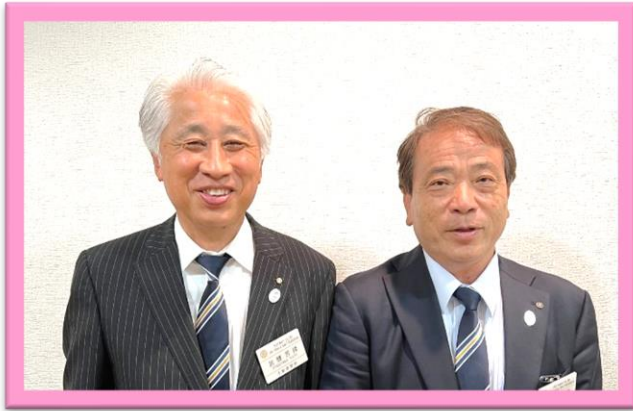




草加松原ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリーのテーマ イマジンロータリー



第527回 例会 6月6日 草加市文化会館

＊ ＊ 本日のプログラム ＊ ＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

5月30日の例会記録

- ◆ お客様 草加市長 山川百合子様
竹村 美穂様
- ◆ 会長あいさつ 加藤芳隆会長

皆さん こんにちは。例会に参加していただきありがとうございます。

今日は、山川市長に卓話をお願いした所お忙しい中お出でいただき、ありがとうございます。

昨年3月25日には、草加松原RCのメンバーでした、お仲間の瀬戸健一郎様が、59歳の若さで、残念ながらお亡くなりになり、心からご冥福をお祈りするばかりです。

瀬戸さんとの思い出は、25年位前に農業委員会の研修にニュージーランドに、市議会議員の担当者として、同行していただき、英会話が出来るのが瀬戸さんだけでしたから説明をしていただき視察体験をした事を思い出します。

さて、今日は山川市長に願してお出でいただいた中で、市役所にとって余り良い話ではないので、話しをして良いか大変悩みましたが、山川市長が就任する前の事ですので、市長には何の責任も有りませんが、しかしながら市長としてご存じないといけない事柄だと思しますので、お話しさせていただきますので、良い意味で聞いていただけたら有難いです。

それは、固定資産税の課税金額にミスが有り、再検査の事です。昨年の6月に、資産税課から手紙が来まして、内容が、過去何10年分の固定資産税に間違

いが発生していましたから、14,000筆を「再計算して確定しましたら、連絡します」との内容でしたが、市役所がそんな間違えをするとは思っていませんでしたので、重要視せず、気に留めていませんでした。今年3月に結果が出ましたとの事で、連絡が有り3名の職員の方が、自宅に説明に来ました。課税金額にミスが有り不足していましたから、時効分前の5年分遡って納付になりますとの事で、原因と経過説明をしていただき、市役所のミスでも5年分を遡って納付するのは、驚きました。

草加市内で何人納付する人が居るかは分かりませんが、私の場合は、通常の納付の他に秋ごろに追加の納付書が届くとの事で、追加金額が200万円を超えて多かった為、職員3人で説明に来られたのだと思います。市役所のミスでも、決定事項ですから、変更は出来なんでしょうから、義務として納付は致します。職員の方が計算ミスを発見し、そして公表するにあたっては、担当部署の職員の方は、相当の勇気と決断が必要だったのではないのでしょうか？ 責任感に感心を致しました。しかし市役所では、課税ミスは有っては成らない事です。

最後に、山川市長には「誰もが幸せな街 草加！」を目指して頑張ってください その様な勇気ある職員と市民の協力で、草加市がより良い・住みやすい街になりますよう願っています。

今日の例会での山川市長の卓話を、宜しくお願い申し上げます。ありがとうございます。

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：加藤 芳隆
幹事：鈴木 努

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC: sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



未来を築く草加のまちづくり

～ 5大戦略の実現に向けて～

山川百合子草加市長



皆様こんばんわ、今日はお声掛けいただきありがとうございます。また、日頃より草加松原ロータリークラブの皆様には、お世話になっております。今日は未来を築く草加の街づくりという事で7つの柱で話をさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

1. 自己紹介、
 2. 市の紹介、
 3. 市の現状、
 4. 草加市の重点的な取り組み
 5. 稼ぐ力
～草加市の歴史と魅力を生かした稼ぐ力～
～草加市のエリアポテンシャルを生かした稼ぐ力～
 6. 学園都市
 7. 誰もが幸せなまち草加
- まずは皆さんご存じかと思いますが、簡単に自己紹介からさせていただきます。

1. 自己紹介

名前 山川百合子、正式な書類は瀬戸百合子と使い分けをしています。議会からは、一本化してほしいなどと言われていますが、どちらも私です。

出身 草加市神明町です。

経歴 平成9年に NGO ピースウィズジャパン、
平成15年に埼玉県議会議員、
平成29年に衆議院議員を経験し、
令和4年、昨年10月の市長選で皆様にご支援いただき、
市長に当選させていただき、現在に至っております。

趣味 映画鑑賞です。

・新庁舎です。令和5年5月8日供用開始しています。

構造: 鉄骨造、一部 SRC 造(免震構造)

規模: 地上10階、地下1階 高さ: 45.79メートル

建築面積: 3,284 平方メートル 延床面積: 18,206 平方メートル

・光と風を感じるテラス

晴れた日には 10 階のテラスから光と風を感じながら、市内を一望することができます。

・自然通風・自然彩光に効果的なエコボイド

エコボイド(吹き抜け)を設置することにより、自然通風を有効に活用します。

エコボイドの壁面を反射壁とすることで、トップライトから 3 階まで明るい自然光を導きます。

この機械は、ご存じですよ！5年前に草加松原ロータリークラブの皆様から寄贈いただきました。

アコスホールに設置してあるリフトです。

足を怪我して、これを使わせていただきましたが、本当に便利です。

ありがとうございました。

2-1 市の紹介 ～草加市の概要～

人口 : 251,167 人 (R5.5.1 現在) 埼玉県で6番目に人口が多い街です

① さいたま市 ② 川口市 ③ 川越市 ④ 所沢市 ⑤ 越谷市

南は足立区と隣接しているため、都心へのアクセスが良く都内へ通勤する方が多いです。

【市内在住従業員の従業地 (R2 年度)】統計データブック 2022 より

都内 38.0% / 市内 35.1% / 越谷市 4.5%

面積 : 27.46 平方km (東西 7.24km 南北 7.6km)

財政規模 : 893 億 7900 万円 (R5 一般会計予算)

市制施行 : 昭和 33 年 (1958 年) 11 月 1 日

2-2. 市の紹介 ～草加市の歴史と魅力～

「草加松原」 草加市の歴史はふるく、400 年以上前、江戸時代の「草加宿」開宿にさかのぼる。

「草加せんべい」 宿場町としての発展とともに、独自の文化が育まれていった。

「獨協大学前駅西口エリア」 獨協大学を中心としたこのエリアも、松原団地の造成とともに大きく発展して、今もなお変化し続けている、代表的なエリアになっている。



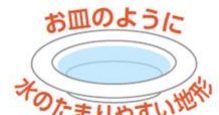
寄贈

草加松原ロータリークラブ

創立5周年記念

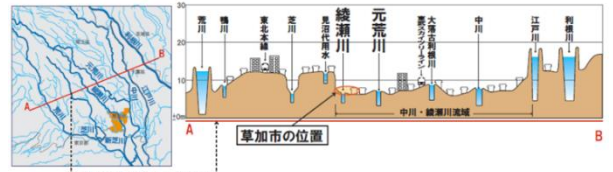
平成29年1月吉日

- 1606年(慶応11年) 大川図書、奥州街道・草加宿の開宿に着手
- 1689年(元禄 2年) 俳人・松尾芭蕉、奥の細道の旅で草加宿に到着
- 1958年(昭和33年) 草加市制施行(人口3万 4,878 人)
- 1962年(昭和37年) 地下鉄日比谷線と東武線が相互乗り入れとなる 松原団地入居開始
- 1964年(昭和39年) 獨協大学開学
- 1968年(昭和43年) 人口10万人を突破(市政施行10年目)
- 1987年(昭和62年) 日本の道100選に「草加松原遊歩道」選定
- 1989年(平成元年) 人口20万人を突破(市政施行31年目)
- 2004年(平成16年) みんなでまちづくり自治体基本条例の制定・施行 今様・草加宿事業開始
- 2014年(平成26年) おくのほそみちの風景地「草加松原」が国指定名称へ
- 2017年(平成29年) 松原団地駅の駅名を「獨協大学前<草加松原>」へ改称
- 2018年(平成30年) 草加市制施行60周年
- 2020年(令和 2年) 人口25万人を突破 (市制施行 62 年目)
- 2022年(令和 4年) 草加せんべいが「伝統の100年フード」に認定



草加市の歴史は、水害との闘いの歴史でした。

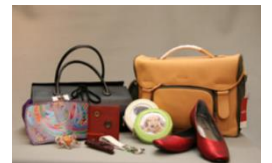
- ・お皿のように水のたまりやすい地形のため、一昔前までは、テレビに映る台風の被害と言えば「草加市」の映像と言える位、水害に悩まされてきた。
- ・写真は昭和 56 年の松原団地駅西口の様子
- ・「激特事業」とは、河川激甚災害対策特別緊急事業の略 大きな災害が起きた場合に、災害が再度発生することを防止する目的で、概ね5か年間で緊急的に実施される事業。



- 草加市は第一次から四次まで4回の激特事業を実施し、治水安全度が大幅に高まった。
- ・具体的には、河川整備や放水路の建設、下水道建設の促進やポンプ場の設置など、様々な対策を最優先で行ってきた。職員による土嚢づくりや災害訓練も毎年行っている。
- 最近では、台風による被害が何とか減少してきた。



- ・市民の安全確保は、自治体の重要な役目の一つ。
- ・草加せんべい、皮革産業、ゆかたは、草加市の三大地場産業。
- ・草加せんべいの基準…



- 1.製造地:草加・八潮・川口・越谷で製造
 - 2.材料:関東近県で収穫された良質のうるち米
 - 3.製造:最低 10 年の経験を持つ職人が製造を管理
 - 4.焼き方:押し瓦での型焼き又は押し瓦方式を取り入れた堅焼き
- ・市内には草加せんべいの製造所や販売所が約50社。
 - ・昔ながらの天日干しや、手焼きによる製造も行われている。
 - ・国産のうるち米と醤油を使用し、一枚一枚職人の手によって焼き上げられるおせんべいは格別。

草加せんべいの歴史

草加は昔から米どころと言われ、多くの米がとれた → 余った米を保存するために団子状にした米を乾かしたものを保存食として作った → 江戸時代「草加宿」ができると、茶屋や物売りが増え、煎餅も店で売られるようになった。

皮革産業の歴史

皮革が製造工程で大量の水を使用するため、地下水が豊富であった草加に、昭和 10 年に皮革会社が工場を開設した。→ 東京の三河島方面から続々とまとまって移転・進出した。

- ・昭和初期から草加では皮革を扱う業者が多く、原皮の扱いから染色・裁断・縫製など、最終製品までの行程がすべてそろっている。
- ・草加地域で活動している皮革事業者の有志によって、「レザータウン草加プロジェクトチーム」が結成

草加のゆかたの歴史

江戸時代の後期、江戸神田の染織業者が大火により焼き出され、水の豊富な当時の草加に移住し事業を再開したのが始まりと言われている。大消費地の江戸に近く、農閑期の余業として受け入れられた。「注染」(ちゅうせん)と呼ばれる染色技法で染められる草加のゆかたの特徴は、ヤカンという道具を使って熱い染料を注いで染め抜くため、表裏ともに色がつくこと。また、伝統工芸士の手によって作り出される微妙な色合いが特徴。

- ・埼玉県の伝統的手工芸品に指定されている伝統産物品。「東京本染めゆかた」として知られている。
- ・注染(ちゅうせん)技法により深く、あざやかに染め抜かれた反物や手ぬぐいは、飽きのこない逸品



「THE LEATHER SCRAP KIMONO」

デザイナーの篠原ともえさんと、そうか革職人会所属の職人達が協働で制作した革の着物作品、本来であれば廃棄されるエゾシカの革の切れ端約 90 パーツを用いて、動物たちが暮らす山の稜線に見立てた水墨画のようなグラデーションを施し、これらを貼り合わせて仕立てている。

国内外で著名な広告賞を受賞している本作品を草加市文化会館内の伝統産業展示室にて常設展示

枝豆・小松菜・くわいが草加市の三大農産物。

消費地に近いことから、鮮度が重視される野菜の生産が盛ん。

「地産地消 MAP2023」では、草加の新鮮な農産物を販売しているお店や飲食店が掲載されている。

草加せんべいマップ

市内全 47 店舗を掲載する草加せんべいマップを公共施設等で配布中。

草加松原の復活

・日光街道の旅人を暑い日差しから守るために植えられた。

江戸時代から「千本松原」と呼ばれ、うっそうとした緑のトンネルを形成し街道の名所となっていた。

・道路の整備が進み、自動車の排気ガス等が増加

➡ 800 本以上あった松が **200 本以下**へ

明治 10 年には約 800 本あったと言われる松も、根元を通行する車両の排気ガスなどにより、著しく本数を減らした。

・松並木を後世に残そうと立ち上がった**市民の皆さん**が植樹した松が成長

それを現在の姿にまで復活させたのは、青年会議所のメンバーを中心とした市民の有志による 100 本の松の補植がきっかけだった。

その後、市はもちろん、地元の人々や埼玉県(SSR 埼玉シンボルロード整備計画)による保護の取組の結果、現在では、634 本の松並木が復活するに至った。

今なお『おくのほそ道』の時代の雰囲気伝える風景の一つとして、

国の名勝に指定された。



昭和45年頃の草加松原



「こも巻き」

寒くなる前に、藁でできた「こも」を松に巻き付け、松の木の天敵となるマツクイムシやマツカレハなどを誘い込み、暖くなる前に「こも」を外し焼却する伝統的な害虫駆除方法。「季節の風物詩」として親しまれている。

3-1. 草加市の人口動態

・昭和 37 年 東洋一のマンモス団地 松原団地入居開始 東武伊勢崎線 ・日比谷線の相互乗入開始

・昭和 43 年 人口 10 万人突破 ・平成元年 人口 20 万人突破

・令和 2 年 人口 25 万人突破

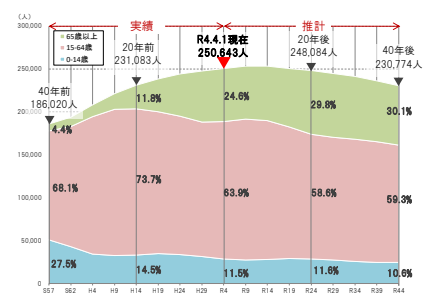
・令和 5 年 5 月 1 日 25 万 1,167 人 → ・平成 27 年 初の自然減

3-2① 人口構成 令和 4 年 4 月 1 日現在

人口減少が、令和 16 年にピーク 25 万 1973 人

65 歳以上(高齢化率) 24.6% → 20 年後 29.8%

→ 40 年後 30.1%



3-3①. 財政状況

・水害対策など、都市基盤の整備が進む中で、土木費が減少

・高齢化に伴い、増え続ける民生費

人口は緩やかに増加しているものの、自主財源は思ったほど増えず。

都市間競争に勝ち抜き、「選ばれるまち」にならなければいけない。

3-3②. 財政状況(令和5年度当初予算 歳入)

歳入全体で 1.1%減

前年比増 市税 2.7%増 地方交付税 11.4%増 寄付金(ふるさと納税) 288.9%増

減 市債 25.9%減 繰入金 17%減

自主財源比率 令和 5 年度 55.6%(令和 4 年度 54.5%)

歳出全体では、1.1%の減

前年度比増 民生費 3.9%増 消防費 8.8%増

前年度比減 衛生費 11.5%減 商工費 39.3%減(いずれもコロナ感染拡大の終結に伴う)

⇒構成比は、①民生費 48.2% ②総務費 14.7% ③土木費 11.9% ④公債費 7.6% ⑤衛生費 7.1%

みんなの声で草加を前へ 五大戦略(+α)

(1)福祉政策 ~高齢者・若者・乳幼児まで「だれ一人取り残さない」福祉を目指します

(2)子ども政策 ~「子育て・教育のまち」に本気で取り組みます

(3)経済活性化 ~国と県とのネットワークを駆使して、地域経済を活性化します

(4)まちづくり ~安心・安全、暮らしに寄り添うまちづくりを目指します

(5)市民が主役 ~「みんなでまちづくり自治基本条例」の理念を実現します

+α 対話のために飛び出す市長!



4-1. 福祉政策

高齢者・若者・乳幼児まで「だれ一人取り残さない」福祉を目指します

・左上「草加松原太鼓橋ロードレース大会」(R5.3.12)※令和4年度から車いすの部を新設

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」、宿場町草加の歴史的な街並みを残す旧日光街道や太鼓橋など変化に富んだコースを楽しみながら走ることが出来る。

コロナ禍で音楽の授業での合唱や学校行事が制限される中、卒業する児童たちに最後の思い出を残してあげたいとの思いから始まった。

草加市社会福祉協議会、草加市聴覚障害者協会、草加市手話通訳問題研究会「手話友の会」協力のもと、練習用の動画を作製した。児童たちは音楽の授業や自宅で練習した。

「あおば学園」

児童発達支援センターあおば学園は、心身の健全な発達に障がいのある児童の療育を行う施設。

保護者のもとから通園して、きめ細やかな指導を受けながら集団生活を送ることにより、基本的生活習慣を養い、社会適応に必要な知識や技能が身につくように発達支援する。

施設の老朽化に対応し、施設・機能を拡張するために、令和3年度から工事を行っている。

令和6年1月を供用開始予定。

従前の施設における受入れ児童は知的障がい児のみだったところ、整備後は、肢体不自由児等への対応も図ることができるようになる。

「にんしん出産相談室ぽかぽか」

妊娠・出産・子育てに関する疑問や不安などを相談できる場所。(保健センター内)

【産婦健康診査】

概ね産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対しての健康診査。産後の身体とところの状態を把握する。

【産後ケア事業】

産後ケアを必要とする方に対して、心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援(産後ケア)を行う。

「手話講座」

令和3年9月、「草加市手話言語条例」「草加市障がいのある人のコミュニケーション条例」を制定した。

条例に基づき、障がいの特性に応じたコミュニケーションについて理解促進や、環境の整備に努めている。

【手話は言語】

手話は、手・指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語。

【様々なコミュニケーション手段】

コミュニケーション手段には、口話、手話のほか、要約筆記、点字、音訳、代筆、代読、平易な表現などがある。

【高年者補聴器購入費用助成事業】

聴力機能の低下により日常生活や会話等に支障をきたしている高年者に対し、閉じこもりや認知症の予防の一助となるよう補聴器購入費用の一部を助成する。

4-2. 子ども政策

草加市の自校方式による学校給食

学校給食の献立は、献立目標に沿って、栄養価、食品構成等を考慮して作られている。

草加市では栄養教諭または栄養士が、季節に合った行事食、日本全国の郷土料理、一汁二菜など特色ある献立作りに取り組んでいる。

地産地消の一環として草加市内で収穫された野菜を献立に使用している。



草加市の学校給食における「こだわり」

①冷凍食品を使わない。

②12時頃に給食が出来上がる。いつも出来立ての温かい給食が食べられる。

③汁物はだしをとるところから。とても丁寧に作られている。

④食器はH3年から磁器を使用している

(壊れやすいものは丁寧に扱わないといけないことを教育)

そのほか、防災献立(アルファ米を体験)や、牛乳パックをトイレトペーパーにリサイクルして学校で使用する取り組みなど、給食を通じた教育活動を行っている。

「松原児童青少年交流センター miraton」

R5.1.4 開館。子どもと30歳までの若者を中心に、誰でも使える施設。

創作活動ができる「創作工房」や、スポーツ・音楽の演奏に利用できる

「ホール」、「ダンス室」「音楽室」のほか、イベントや会議などで使用できる

「マルチルーム」、乳幼児と保護者が過ごす「おやこルーム」など、様々な機能がある。

建物の先進的なデザインから未来に通じるタイムトンネルを連想し、

「草加未来トンネル」略して「ミラトン」という愛称になった。

この作品には、「子どもや若者たちが、施設でたくさんの人と出会い関わり、いろいろ体験して、未来に夢をもって育ててほしい」という思いが込められている。

価格高騰が継続している中、学校給食の質と量を維持するため補助する。



「学校給食給食費補助事業」

学校給食の食材費は一ヶ月あたり小学校が 4,300 円、中学校は 5,100 円を保護者負担として運営。

直接雇用による語学指導助手(ALT)の増員

小中学校全 32 校に各 1 名ずつ配置している ALT について、直接雇用と派遣の人数内訳を見直し、ALT 全体の指導力の引き上げ、子どもたちのさらなる英語力・国際理解力の向上を推進する。

4-3. 経済活性化

国と県とのネットワークを駆使して、地域経済を活性化します

リノベーションまちづくり

今ある地域資源を活用して、志ある市民によりまちの新たな魅力となるビジネスの創出を通して「ほしい暮らしは自分でつくる」を実践する民間主導のまちづくり。

遊休不動産をリノベーションして再生する。この取組から、10 の新しいビジネスが誕生。

子連れで働けるシェアアトリエや子どもスペースのあるカフェ、野菜料理を楽しめるバル、本格洋食屋さん、スペシャルティコーヒーの専門店など。

「ふるさと納税返礼事業の拡大」(のちほど「稼ぐ」の章で詳しく触れる)

ふるさと納税制度は、応援したい自治体を寄付の形で支援する制度。

当市を代表する『草加せんべい』や地場産品である『皮革製品』をはじめ、生活必需品や家具、お菓子など幅広いジャンルの商品が登録されている。

また、クラウドファンディング型ふるさと納税を通じて、様々な市民主体の活動を発信、支援していく。

企業が地方公共団体の実施する地方創生の取り組みに対して寄附を行う「企業版ふるさと納税」についても、トップセールスを展開しながら、本格的に取り組んでいく。

「わたしたちの 3 ビズマーケット & 3 ビズマルシェ in さいかちどマーケット」(R5.3.11)

子育て等と並行可能な創業を支援するため、草加市女性創業スタートアップ事業「わたしたちの月 3 万円ビジネス in 草加」を開催している。同講座最終回として、マーケットで出店し、ビジネスデビューを果たした。



「いいがなうめえがな市」

姉妹都市の福島県昭和村の農作物や特産品、食品等を販売。草加マルイ 1 階の市観光案内所隣接のスペースで開催。

今回は「8 月 19 日(土)10:30~16:00」に開催予定。

草加駅東口駅前広場整備事業

草加駅東口の駅前広場における老朽化施設の改修、にぎわい創出に向けたオープンスペースの確保、ロータリーの車両交通の円滑化などを目的。

令和 6 年度までの予定で歩道や照明等の整備、看板の設置等を行う。

4-4. まちづくり

安心・安全、暮らしに寄り添うまちづくりを目指します

「防犯のまちづくり街頭キャンペーン」(R4.11.29)

埼玉県、草加市、草加警察署、地域防犯推進委、各金融機関により防犯啓発品を配布

「謎解き街歩きゲームウォーキング inSOKA2022」(R4.12.11)

地図を片手に草加小学校を出発し、約 3 キロメートルの距離を謎解きやゲームを行いながら、公園や神社など 6 か所のチェックポイントを巡っていくもの。スポーツ推進委員の皆さんが中心となって企画・運営した。

スポーツ推進委員は、地域スポーツのコーディネーター役で、市内のスポーツ指導者の方などが、スポーツの推進のために活動している。

「草加さくら祭り」

葛西用水路沿い(稲荷地区)模擬店や姉妹都市福島県昭和村の出店、各種イベントで賑わう。

「農業祭」市民体育館で 12 月頃開催。農産物の即売会や、草加産野菜の販売が行われる。

4-4. まちづくり

「草加市消防団」(R4.6.5 号広報)

市民の有志で組織し、消防防災活動を行う「消防団」。現在の団員は 206 人。女性団員は 15 人。

限られた時間の中で、団員同士の信頼関係を築き、有事の際には消防と連携しながら地域住民の皆さんの生命や財産を守るために活動している。

学生消防団活動認証制度…消防団員として活動した学生に対し、市長が証明書を交付する制度

「草加松原展」

おくのほそ道のゆかりなど、草加の歴史を尊重し、草加に息づくにぎわいと活気のある文化芸術の振興、向上、発展のために「松」草加松原を題材に公募した絵画展を開催する。

「獨協大学前駅ホームドア」

安全性向上やバリアフリー化を目的に、市内 4 駅のホームドアの設置を国土交通省・埼玉県・東武鉄道・市が協力して進めている。

4-5. 市民が主役

次のテーマは「市民が主役」

このまちは「市民の市民による市民のため」の存在。市民の皆さんがまちづくりの主体となって、積極的に活動していくことが、市民自治の実現につながる。そのひとつに、「まつり」がある。草加市にはたくさんのまつりが行われている。

4-5. 市民が主役 ～パートナーシップによるまちづくり～

「みんなでまちづくり自治基本条例」の理念を実現します

草加市みんなでまちづくり自治基本条例

この条例は、草加市のすべての市民の自由と平等と公正を保障する「だれもが幸せなまち」をつくるたされました。草加市の市民自治の実現とパートナーシップによるまちづくりを進めるため、市民・市議会・市の三者の関係やそれぞれの役割と責務が定められています。

草加市みんなでまちづくり自治基本条例

平成 16 年 6 月制定。草加市のまちづくりの目標は、みんなが協力して「だれもが幸せなまち」をつくること。

草加市の市民自治の実現と、パートナーシップによるまちづくりを進めるため、市民・市議会・市の三者の関係やそれぞれの役割と責務が定めた。

- | | | |
|-----------------------|------------|----------------|
| 1.草加市のまちづくりの基本方針・基本原則 | 2.市民の権利・責務 | 3.議員の責務・市議会の責務 |
| 4.市長の責務・市の責務 | 5.市政運営 | 6.まちづくりの環境整備 |
| 7.まちづくりの参画手続 | 8.住民投票 | 9.条例の検証 |

「みんなでまちづくり会議スピンオフ企画～これからの「草加」の話をしよう!!～」

令和 6 年度(2024 年度)から 4 年間のまちづくりの総合的な指針となる第四次草加市総合振興計画第三期基本計画の策定に向けて、大学生と若手職員が参加し、2 日間のプログラムで開催されるワークショップを開催した。獨協大生の皆さんにも参加してもらい、草加市の課題や解決策について貴重な意見を出していただいた。

「福祉プラスのまちづくり」

障害を持つ方が豊かな暮らしを実現できるように、ワークショップなどを通じて、多様な側面で地域社会とのつながりを強化し、民間主導の取組を創発する。

「みんなでまちづくり副読本」

草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づき、条例検証を行うため、市民検証委員会を実施する。また、子どもたちに条例を理解してもらうための副読本を 5 年ぶりに改訂し、市内小学校へ配布する。

「市民団体によるまちづくり活動の例」

【ふるさとまちづくり応援基金】

市民活動団体の主体的なまちづくり活動を支援するために基金を設立。
自治基本条例に基づき、公募選考方式により助成を決定している。

【おはなしサークルぽんぽこ】

手作り人形劇を地域の子育て支援施設や会館等で上演し、親子で一緒に遊べる体験を提供

【草加ローカルプロジェクト】

地域の人と人をつなげる世代間交流をテーマに活動。ワークショップやマルシェ等のイベントを開催。

広域連携・官民連携の推進

自治体間連携や大学・企業等とのパートナーシップにより、高度で専門的な知識や技術を活用して、多様化する行政ニーズに対応します。 大学・企業等との協定 116 件 協定等に基づく連携事業 319 件

4-6 + α 市民との対話のために

5. 稼ぐ力

冒頭の草加市の現状において、パートナーシップと並んで重要なのは「稼ぐ力」

稼ぐ力は「①制度の活用」と「②まちづくり」という2つの考え方がある。

- ① 制度の活用 草加市の歴史と魅力を生かした稼ぐ力
- ② まちづくり 草加市のエリアポテンシャルを生かした稼ぐ力

5-1. 草加市の歴史と魅力を生かした稼ぐ力

ふるさと納税

ふるさと納税制度は、個人の方が都道府県・市町村に対して寄附をすると、寄附金のうち 2 千円を超える部分に寄附実績) 令和 4 年度 約 2 億円超(12,861 件) 令和 3 年度 約 6,000 万円(3,427 件)

上位返礼品:①ティッシュ(日本クレシア) ②ほぼ日アースボール(地球儀) (渡辺教具) ③草加せんべい(各社)

※増加要因⇒①ポータルサイトを 1 社から 2 社にした。

②返礼品の充実ついて、一定の上限まで所得税・個人住民税が控除される制度です

企業ふるさと納税

企業版ふるさと納税とは、企業が地方公共団体の実施する地方創生の取り組みに対して寄附を行うことで、税制上の優遇を受けられる制度です。令和 2 年度の税制改正により、より使いやすい制度となりました。企業が地方公共団体に寄附した場合に、税制上の優遇が受けられる制度。

草加市では昨年度(令和 4 年度)より受け入れ開始。 昨年度は 1 事業を対象としていた。

今年度から対象事業を大幅に増やした。(約 70 事業) (寄附実績) 令和 4 年度 0 件

5-2. 草加市のまちづくり(土地利用方針)

土地利用方針

市内全域で一定の高密度な市街地が形成されている中、まちの発展とともに生じる課題を緩和していくための方針です。草加川柳地区(市街化調整区域)

企業誘致推進地区

企業誘致とともに自然環境と調和をめざし、地域経済の活性化と雇用の創出に取り組みます。

スポーツ推進地区

スポーツを通じた健康づくり促進のために、スポーツ機能の立地をめざします。

多世代交流推進モデル地区

子どもから高齢者までの誰にとっても必要な機能が身近な場所にあり、子どもや高齢者が見守り合うような生活環境の創出をめざします。**5-3. エリアポテンシャルを生かした稼ぐ力**

草加川柳地区(市街化調整区域)

東埼玉道路の開通などに伴い、土地のポテンシャルが高まっている地区。

周辺地域の開発動向を踏まえ、豊かな自然環境や田園風景と住環境との調和を基本として、企業誘致やスポーツ機能の立地など計画的な土地利用を図っている。

具体的な事業として

草加柿木地区産業団地　　そうか公園リニューアル　　市民温水プールの建て替え

北東部新屋外スポーツ施設(現在は用地買収を行っている)

草加柿木地区産業団地　　総面積:19万4000平方メートル　　区画数:9区画(8企業)

工事期間:令和6年度まで(予定)

5-3. 草加柿木産業団地(草加柿木フーズサイト)

アクセスの良さと工業用水を利用できること(工業用水を供給できる浄水場は県内2か所のみ)を強みに、地域経済の活性化、雇用の創出に向けて産業団地を誘致しました。

期待される効果

地域経済の活性化

1. 新たな雇用の創出や地域経済の活性化が見込まれる。
2. 進出する事業と地元企業を繋ぎ、地域に根差した産業団地を目指す。

柿木地区に産業団地をつくるメリット

1. アクセスが良い
東京中心部まで約20キロメートル、東埼玉道路沿いで東京外かく環状道路草加インターチェンジから約4キロメートルと好立地のため、販路拡大など東日本の拠点としての需要が見込まれる。
2. 工業用水の利用が可能
工業用水を供給できる浄水場は、柿木浄水場を含め、県内2か所のみ。大量の水を自社の浄化装置で処理して使用する食品製造関連施設にとって、安価な工業用水が利用できるのは、魅力の一つ。

5-3. エリアポテンシャルを生かした稼ぐ力

東埼玉道路の開通などに伴い、土地のポテンシャルが高まっている地区です。

周辺地域の開発動向を踏まえ、豊かな自然環境や田園風景と住環境との調和を基本として、企業誘致やスポーツ機能の立地など計画的な土地利用を図っています。

そうか公園

獨協大生の皆さんにも参加してもらい、草加市の課題や解決策について貴重な意見を出していただいた。**5-**

3. そうか公園

市内唯一の都市公園として公園機能に加え、多目的グラウンドやテニスコートも有し、市民の憩いの場となっています。休日は多くの人でにぎわう。

5-3. 市民温水プール

多くの市民に親しまれてきた温水プールを、新たな機能を付加した上で再整備し、市民の健康づくりや**スポーツの振興**を図ります。

市民温水プール

多くの市民に親しまれてきた温水プールを、新たな機能を付加した上で再整備し、市民の健康づくりやスポーツの振興を図る。市民アンケートにおいて、水泳は取り組みたいスポーツの上位に位置している。

建て替え前の温水プールは昭和60年築。年間60,000人から70,000人が利用。

交流スペースやスタジオなど新たな機能を付加し、令和8年度竣工予定。

5-4. 草加市のまちづくり(土地利用方針)

獨協大学前<草加松原西側地区>

「多世代交流推進モデル地区」

- ・UR都市機構・獨協大学との協定に基づき、地区計画などを活用し建物規模や地域の景観、日照などに配慮
- ・多様な世代が共存できるよう、利便性の高い良質な住宅の供給や公共公益施設の整備など、計画的な住環境づくりを促進する
- ・福祉、医療、子育て、教育など地域の生活価値を高める施設の立地・誘導を図る

5-4. エリアポテンシャルを生かした稼ぐ力

獨協大学が開学した昭和 39 年頃の周辺の様子

草加市が誕生した昭和 33 年頃に丁張耕地と呼ばれていた広大な水田地帯に、敷地面積約 54 ヘクタール、324 棟 5926 戸という規模で建設。住民の入居が始まった昭和 37 年当時は「東洋一のマンモス団地」といわれた。

松原団地 建替事業

建設から 40 年以上が経過し建物や設備の老朽化に加え、生活水準の向上など時代のニーズに対応するため、UR 都市機構が平成 15 年 3 月に団地の建替え事業に着手した。

併せて、団地の建替事業に伴い団地内に設置されている公共公益施設等(都市計画道路、都市公園、保育園、小・中学校、児童館等)の新設・再整備を行っている。

平成 22 年 4 月 さかえ保育園・子育て支援センター

平成 23 年 4 月 松原小学校

平成 26 年 4 月 栄小学校

平成 27 年 4 月 松原団地記念公園

令和 5 年 1 月 松原児童青少年交流センター miraton

令和 5 年 3 月 TOBU icourt

令和 5 年 4 月 獨協大学コミュニティスクエア

R5.1.4 開館。30 歳までの子どもと若者を中心に、誰でも使える施設。

創作活動ができる「創作工房」や、スポーツ・音楽の演奏に利用できる「ホール」、「ダンス室」「音楽室」のほか、イベントや会議などで使用できる「マルチルーム」、乳幼児と保護者が過ごす「おやこルーム」など、様々な機能がある。

建物の先進的なデザインから未来に通じるタイムトンネルを連想し、「草加未来トンネル」略して「ミラトン」という愛称になった。

この作品には、「子どもや若者たちが、施設でたくさんの人と出会い関わり、いろいろ体験して、未来に夢をもって育てほしい」という思いが込められている。

松原テニスコート

miraton に併設して、開設した松原テニスコート ハードコート3面 9:00~21:00 夜間照明あり。

TOBU icourt R5.3.30 開業

東武鉄道株式会社は、本施設の開業をきっかけに、行政や住民・大学など地域と更なる連携を図り地域の魅力を高めるまちづくりを進め、東武グループが経営方針に掲げている「地域社会の持続的な発展」を推進するとしている。

松原団地記念公園との連続性

地域の住民や獨協大学生に親しまれている公園と、商業施設間に通る市道は「歩行者専用道路」となっているため、シームレスに接続できる「歩行者利便増進道路(ほこみち)」の指定

道路空間を活用する際に必要となる道路占用許可が柔軟に認められる。

マルシェイベント

R5.3.18(土)「picnigood sokamatsubara」(ピクニグッド ソウカマツバラ) 東武鉄道株式会社主催

獨協大学コミュニティスクエア R5.2 月竣工、R5.4 月供用開始

「学術研究・教育活動×地域との開放的な交流の場」をコンセプトに、自由度の高い第二のキャンパスとして学獨協大学前<草加松原>駅西側地区の地域活性に資することが期待される。

年間エネルギー収支がゼロとなる建築物である ZEB(Net Zero Energy Building)を実現。

環境への配慮もされている。

6. 学園都市 草加

獨協大学の開学以来、様々な取組で連携し合い、共に発展してきました。

草加国際村一番地 国際交流フェスティバル(H30.6.17)

草加市国際交流協会主催、獨協大学共催で獨協大学キャンパス内で開催。

会場には世界の文化を様々な形で体験できるブースがあり、特に「世界の食べ物」コーナーは長蛇の列ができる人気ぶり。今年度は、6 月 11 日(日)4 年ぶりに開催予定。

獨協大生にもスタッフとして協力いただき、外国籍の方との交流企画なども予定している。

そうか生き物調査(R4.8)

草加市の生物多様性の取り組みを進めるうえでの基礎情報を収集するために、平成 28 年度から市内に生息・生育する動植物について、市民参加による「生きもの調査」を開始した。

そのうち1回は、獨協大学内や周辺の生きものについて調査している。今年度は、8 月 25 日に実施予定。

獨協大生 現場レポート(H30 市制施行 60 周年事業)

草加市の取り組みについて学生目線でレポートを作成いただいた。

リノベーションまちづくり／防災／子育て支援／多文化共生

草加レザーフェスタ(R5.2.4)

そうか革職人会創立 20 周年記念事業。大抽選会、皮革製品及び皮革素材の展示・販売、レザークラフト体験コーナー等、皮革の魅力を体感出来るイベント。獨協大学生にも体験や販売に関わってもらった。

伝右川はつらつプロジェクト(R2.12 伝右川まちかどベンチプロジェクト)

伝右川の歩道環境や親水空間の整備、水質改善などにより、歩きたくなるような魅力づくりを行っている。

獨協大学や、都市再生機構、地域住民、埼玉県と協力して川を中心としたまちづくりを行うもの。

この一環で、伝右川遊歩道に手作りベンチを設置する取り組みを、獨協大学生や地域住民と行った。

英語検定試験学習会(R4.10.1)

獨協大学生 15 名が草加市立中学校 3 年生 257 名に対して英検の問題の解説やコツを教えていただいた。

パラリンピック選手団との交流(R1.9.29)

コロンビア共和国パラリンピック水泳選手団による事前キャンプでは、獨協大学高安ゼミの皆さんが、選手団にインタビューを行った。

草加本染 LOVERS による手ぬぐい販売(R4.11)

獨協大学の高安ゼミの学生が商品開発をした「注染」の手拭いやハンカチ、巾着等を扱うブースを、草加マルイ 1 階で開催した。「草加本染 LOVERS」をプロジェクト名に活動を行い、草加市の伝統産業である「本染浴衣」について「若者×伝統」をテーマに商品を開発し、デザインから染色までを手がけた。

「本染浴衣」に用いられる「注染」という伝統技法を、県伝統工芸士で草加市文化賞受賞者の屋間時良さんから直接学んだ。

7. 誰もが幸せなまち 草加

私が考える幸せとは・・・

周りから大切にされていること、愛されていることを実感し、

* 自分自身をかけたがえのない大切な愛すべき存在だと感じられること。

自分が属する社会の一員として、その社会に貢献している、

* その社会をつくりあげている一人だと感じられること。

* 自分の可能性が最大限に開花されること。

駆け足で話をさせていただきました。

ご清聴ありがとうございました。



今後のプログラム

6/13 クラブ協議会	レセプション
6/20 親睦旅行(6/25.26)に振替	甲府湯村温泉
6/27 最終例会	今様本陣

5月30日 ニコニコBOX

金額	16,000円	累計	594,701円
----	---------	----	----------

5月30日 出席報告

会員総数	34	出席	15
出席免除	2	MU	2
出席適用	32	出席率	53.13

ZOOM 参加者	小笠原薫子会員 来栖勝幸会員
----------	-------------------

幹事報告

鈴木 努幹事

今日は大変残念なお知らせです。当クラブ会員の関幸彦さんが5月15日にお亡くなりになったとの連絡が届きました。すでにご親族でご葬儀は済まされたとのこと。ご弔問に行かれる方は、明日5月31日(水曜日)から6月4日(日曜日)の午後1時～午後6時まで関マンション1階の事務所でご焼香できる場を設けたとの事です。

なお、香典・供花・供物はご辞退申し上げますとのことです。よろしくお願い致します。

草加市谷塚町592関マンション 1階
谷塚駅より徒歩5分

加藤 芳隆会長	山川市長おいそがしい中、そして足の怪我で大変な時においていただきありがとうございます。卓話宜しく願い致します。
鈴木 努幹事	いよいよ梅雨かな！という今日この頃です。この梅雨を吹き飛ばす元気な山川亜百合子市長宜しく願いします。
会田小弥太会員	山川市長、卓話宜しく願い致します。楽しみです。竹村様入会お待ちしております。(大輔のおやじです)
牛山 信康会員	山川市長さんようこそいらしゃいました。草加の未来のため素晴らしいデザインを言って下さい。応援しています。
大塚 嘉一会員	山川市長、卓話楽しみに来てきました。
篠宮 時雄会員	草加市長山川様、卓話ありがとうございます。
田川 富一会員	草加市長 山川さんをお迎えして
田中 和郎会員	山川市長卓話ありがとうございます。竹村さんようこそ
富永 悟会員	山川市長卓話ありがとうございます。
松田 龍美会員	本日の卓話 山川亜百合子市長、宜しく願いします。楽しみにしています。
長谷部健一会員	本日は山川百合子市長の卓話ありがとうございます。竹村美保さんようこそお越し下さいました。大歓迎です！！
山崎 秀美会員	山川市長卓話楽しみです。
北畠 文康会員	山川市長お世話になります。よろしくお願い致します。
安田 洋介会員	本日は山川市長の卓話楽しみにして参りました。お怪我が早く治る様無理をなさらないで下さい。